

2007年10月31日
スカパーJSAT株式会社

業績予想の修正に関するお知らせ

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：仁藤 雅夫）は、最近の業績動向等を踏まえ、平成19年8月8日に発表した平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の中間期および通期の連結業績予想、並びに中間期の単体業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

1) 連結業績予想数値の修正

平成20年3月期中間期連結業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成19年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	60,000	4,000	4,000	7,000
今回修正予想（B）	60,000	6,800	6,600	8,200
増減額（B - A）	-	2,800	2,600	1,200
増減率（%）	-	70.0%	65.0%	17.1%
前期実績	-	-	-	-

（金額の単位：百万円）

平成20年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	125,000	5,500	5,000	8,500
今回修正予想（B）	121,000	7,000	7,000	9,000
増減額（B - A）	4,000	1,500	2,000	500
増減率（%）	3.2%	27.3%	40.0%	5.9%
前期実績	-	-	-	-

（金額の単位：百万円）

2) 修正の理由

連結営業収益については、株式会社スカイパーフェクト・コミュニケーションズ（以下スカイパーフェクTV）における加入件数がスカパー！光を中心に前回の想定を下回っていることや、現状の解約率を勘案し、通期予想を前回発表予想の1,250億円から1,210億円に下方修正いたします。

損益面では、スカイパーフェクTVにおける加入獲得費用が当初見通しを下回っていることやジェイサット株式会社（以下JSAT）およびスカイパーフェクTVにおいて営業費用の節減が進んだこと等から、中間期の連結営業利益及び連結経常利益について、前回発表予想を各28億円、26億円上回る各68億円、66億円に上方修正いたします。通期についても、e2 by スカパー！を中心としたマーケティングの強化に伴う費用が増加するものの、前回発表予想の連結営業利益55億円、連結経常利益50億円をそれぞれ70億円に上方修正いたします。

また、連結当期純利益については、上記要因に加え、株式会社インデックス・ホールディン

ガス等の保有有価証券の減損による投資有価証券の評価損約 24 億円を特別損失に計上することおよび税効果会計の導入による中間期末での法人税等調整額(約 45 億円)等を勘案し、中間期については前回発表予想の 70 億円を 82 億円に、通期については前回発表予想の 85 億円を 90 億円に上方修正いたします。

2 . 単体業績予想の修正

1) 単体業績予想数値の修正

平成 20 年 3 月期中間期連結業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	900	50	100	100
今回修正予想 (B)	800	50	10	30
増減額 (B - A)	100	100	110	70
増減率 (%)	11.1%	-	-	-
前期実績	-	-	-	-

(金額の単位：百万円)

- * スカパーJSAT 株式会社の単体の通期業績予想(営業収益 55 億円、営業利益 39 億円、経常利益 38 億円、当期純利益 38 億円)は変更ありません。
- * 配当予想については、中間配当(500 円/株)および年間配当合計(1,000 円/株)とも変更ありません。

2) 単体業績予想修正の理由

中間期においては、前回予想の営業収益 900 百万円、営業利益 50 百万円、経常利益 100 百万円、中間純利益 100 百万円を、それぞれ 800 百万円、50 百万円、10 百万円、30 百万円に修正いたします。ただし、これらは収益・費用の計上の時期や方法の見直しが主要因であり、通期においては前回予想を据え置きます。

- * 上記記載の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以上